

【 EXEOウイング 外当て式リヤドアハンドルロック交換要領 】

1. 必要工具

- ①ハンマー
- ②メガネレンチ (M12)
- ③インパクトレンチ (M12ソケット使用)
- ④φ4~5mm程のドライバー等 (スプリングピン取り外し用)
- ⑤トルクレンチ
- ⑥ビニルテープ

2. 作業手順

1) ハンドルの取外し

- ①スプリングピンを取外し
 - a: ドア及びハンドルロックを固定して下さい
 - b: A部スプリングピンに必要工具④をあてがい必要工具①にて叩きだして下さい

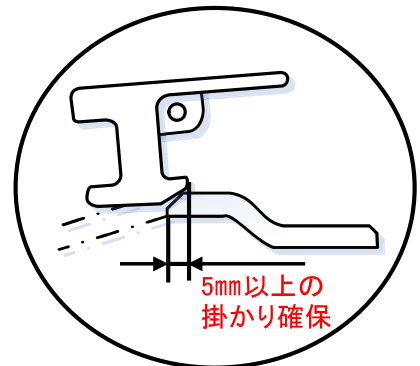
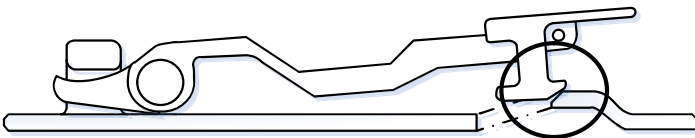
- ②ハンドルロックを下にズラして外して下さい

2) ハンドルの取付

- ①ハンドルロックをシャフトに挿入して下さい
- ②スプリングピンを差込、ハンマーで叩き入れて下さい

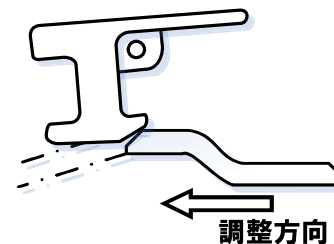
3) ハンドルロックとキーパーの掛かりシロの確認

- ①ロックハンドルをキーパー側に押し当てた際、下図のカカリシロが**5mm以上の掛かり**があることを確認すること



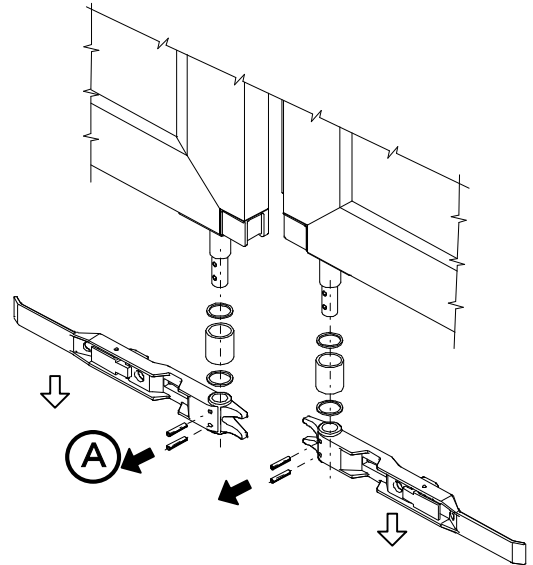
※1 仮に掛かりシロが5mm以下であった場合

キーパーを止めているボルト3本を緩め、仮固定した状態で、キーパーをハンマー等で叩き、位置を調整下さい (調整方向は内側へ)



4) 開閉確認

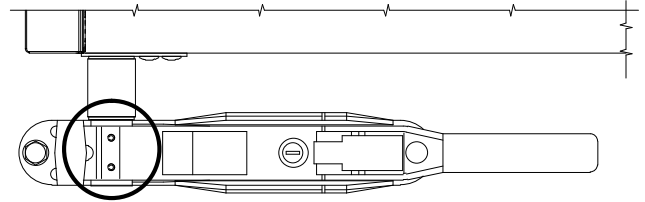
- ①各所の作業が完了しましたら、ドアの開閉確認やハンドルロックの操作状況等を確認して下さい



【 EXEOウイング 煽りブロンクレール交換要領 】

5) ステンレス製ロックハンドルの調整

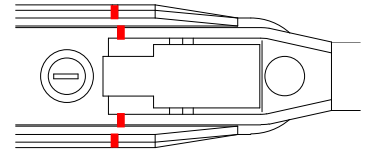
※2 ハンドルロックの交換に関しては、1枚目のスチール製と同様です



スプリングピン固定

① ステンレス製ロックハンドルは、ロック本体の表面に切れ込みが入っています。
右図のように注意して、キーパーとの掛かりシロを調整下さい

○ キーパー側の切れ込み印より、ハンドルの印が外側にあること



× キーパー側の切れ込み印より、ハンドルの印が内側にあると、掛かりシロが浅くなり、ロックの押さえが弱くなります

